

社会科学習指導案

1 単元名 武家政権の展開と世界の動き、近代国家の歩みと国際社会

2 単元について

本単元では、学習指導要領の大項目B「近世までの日本とアジア」とC「近現代の日本と世界」にまたがって、江戸時代について学習する。日本最長の歴史を誇った武家政権である江戸幕府の政策や民衆の生活、対外関係を中心に扱い、江戸時代の特徴を多面的・多角的に考察し、表現することをねらいとしている。

本学級の生徒は、真面目に諸活動に取り組むことができ、習得すべき知識や技能を確実に身に付けようとしている。授業では、積極的に発言し、主体的に学習に取り組んでいる生徒も多い。一方で、習得した知識や史実を基に多面的・多角的に歴史的事象を分析・評価できる生徒はまだ少ない。

本時では「江戸時代が約260年も続いたのはなぜか」という単元を貫く問いへの最終的な答えを資料を基に多面的・多角的に考え、他者に分かりやすく説明する活動を行う。江戸時代についてこれまで学習した内容を基に深い学びに繋がられるよう、思考ツールとタブレット端末を組み合わせ、班員の意見や学級全体の意見を互いに閲覧できるようにする。多くの考えに触れることで、各自が自分の考えを深め、自信をもって説明できるようにしたい。

3 指導計画（計22時間）

大項目	中項目	小単元	主な学習内容	時間
B 近世までの日本とアジア	(3) 近世の日本	1 武士による全国支配の完成	- 単元を貫く問いの掌握 江戸時代が約260年も続いたのはなぜだろう - 幕藩体制のしくみ - 朱印船貿易とキリスト教への対応 - 鎖国政策下の外国との関わり - 琉球王国、蝦夷地との関わり	4
		2 天下泰平の世の中	- 江戸時代の人々の身分制 - 国内産業の発展 - 産業の発展を支える交通の発達 - 江戸時代前半の文化の特色 - 江戸時代前半の学習の振り返り （前半の学習を終えた時点での単元を貫く問いへの答えを考える）	4
		3 社会の変化と幕府の対策	- 享保の改革と工業の発展 - 田沼意次の政治と寛政の改革 - 江戸時代後半の文化の特色	3
C 近現代の日本と世界	(1) 近代の日本と世界	1 欧米諸国における「近代化」	- イギリスの市民革命とアメリカ独立 - フランス革命、人権思想の広がり - 産業革命と資本主義の成立、社会主義の提唱 - アメリカ、ドイツ、ロシアにおける近代国家の成立 - 欧米諸国の世界進出	5
		2 開国と幕府の終わり	- 外国船への対応とアヘン戦争 - 天保の改革と幕府政治の衰退 - ペリー来航が日本に与えた影響 - 江戸幕府の滅亡 - 単元を貫く問いへの答えを考える - 思考ツールを使って自分の考えを説明する（本時）	6

4 本時の学習（22／22時）

(1) 目標

- 江戸時代が約260年続いた理由について資料を根拠に多面的・多角的に考察し、思考ツールを活用しながら分かりやすく説明することができる。

(2) 展開

※「努力を要する」状況と判断する生徒への手立て

配時	学 習 活 動	指導上の留意点 ◆評価＜方法＞
3	1 鎌倉時代、室町時代と江戸時代の長さを比較し、改めて江戸時代が武家政権の中で最も長く続いていた時代であることをつかむ。 全体	・年代の長さを表した紙テープを黒板に貼ることで、容易に比較できるようにする。
1	2 単元を貫く問いと本時の課題を提示する。 全体	
	江戸時代が約260年も続いたのはなぜだろう ～思考ツールと資料を使って理由を説明しよう～	
16	3 前時に自己選択した思考ツールを使って、江戸時代が約260年も続いた理由を班員に説明し、最も説得力のあった答えを1つ選ぶ。 班 ・武家諸法度…幕藩体制をずっと維持できたのは明確なルールがあったから。身分制度も相まって全国一律の支配をすることができ、反乱を防げた。 ・三大改革…百姓一揆や打ちこわしに対する対応をきちんと行ったから。武士にとっても農民にとっても必要。 ・産業と交通の発達…国が安定して発展するためには産業が発達する必要がある。他の時代と比べて航路が発達していたから。 ・鎖国…外国から侵略されなかったことで長く続けることができたと思う。国内産業の発達にもつながったのではないかな。	・多面的・多角的な視点を大切にしながら説明するよう伝え、黒板に明示しておく。 ・スライドに貼り付けた資料を根拠に説明するよう押さえる。 ・Microsoft Teams のファイル共有機能を活用して、さらに説得力が高まるよう、班員で協力して手直しをする。 ・より多くの側面、より複数の立場から考察した理由が最も説得力があることを確認する。 ※活動が行き詰まった場合は、画面を共有し、他の生徒のスライドを見てもよいこととする。
20	4 班の中で最も説得力のあった答えをモニターに提示し、説明する。 全体	◆思考・判断・表現＜発表・スライド＞ 単元を貫く問いに対して、資料を根拠に多面的・多角的に考察し、説明している。
10	5 他の人の考えを聞いた上で、再度、単元を貫く問いに対する答えを考え、Microsoft Forms に入力する。 全体	・手直しした班には、より説得力を増すためにどのような改善を施したのか説明させる。 ・以前の答えと変わった生徒を意図的指名し、答えを変えた理由を発表させるために、入力結果を即座に表示する。 ・教師の答えも一意見として伝える。

(3) 授業の視点

- ・思考ツールとICTを組み合わせ活用し、江戸時代が約260年続いた理由を考えたことは、多面的・多角的に歴史的事象を分析・評価するための手立てとして効果的であったか。

5 板書計画

単元を貫く問い 江戸時代が約260年も続いたのはなぜだろう			～今日の流れ～
1 班 武家諸法度	4 班 薪水給与令	7 班 身分制度	・課題確認 ・班の人に説明 ・選ぶ ・全体でシェア ・再考
2 班 参勤交代	5 班 三大改革	8 班 産業と交通の発達	大切にしたい視点 多面的 政治、経済、文化 外交… 等
3 班 歌舞伎等の庶民の娯楽	6 班 公事方御定書	9 班 鎖国	多角的 武士、百姓、町人 僧侶… 等